

診療統計

2011 年 2 月～2011 年 4 月統計データ（ ）内は 1 日平均

診療実日数 2 月（入院：28 日・外来：23 日）、3 月（入院：31 日・外来：26 日）、4 月（入院：30 日・外来：25 日）

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
2 月	28,988 人(1,260.3 人)	16,223 人(579.4 人)	221 件(7.9 件)	535 件(28.2 件)
3 月	32,180 人(1,237.7 人)	17,888 人(577.0 人)	284 件(9.2 件)	609 件(27.7 件)
4 月	31,086 人(1,243.4 人)	16,646 人(554.9 人)	298 件(9.9 件)	598 件(29.9 件)

患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しましては、関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど、出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で、早急に対応が必要なもの、多くの方が希望していることを優先して対応させて頂きたいと考えており、その他のご意見についても順次対応させて頂きます。

前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近多くいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させて頂きました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	改善・対応等
尿検体を採尿カップから容器に移すのは病院でやってもらいたい。	患者さんご自身で移していただくことには、ふたつの意味があります。 まずひとつ目は、ご提出いただく検査用検体（この場合は尿）が正しくご自身のものであること、検査結果に影響を与えるような不純物が混ざっていないことを、患者さんご自身で確認していただくということです。採尿カップのままご提出いただきますと、こぼれて足りなくなったり、他の患者さんのものと混ざったりする危険があり、正しい検査結果が報告できなくなるおそれがあります。 ふたつ目は、移し替えの作業をしていただくことにより、ご自身の検査に積極的に参加し、さらには健康状態に関心を持っていただきたいと願っています。 お身体の不自由な方につきましては、受付担当者または採血担当者から、採尿カップのまま提出していただくよう、お話をさせていただいておりますが、手先や足元が不安定などで移し替えの作業に不安を感じる場合は、遠慮なくお申し出ください。提出窓口で対応させていただきます。
採血の針が太すぎる。人によっては細い針でやってもらった方が良いと思う。	採血針についてですが、標準採血法ガイドラインにより検査用血液の採血には使用する針の太さが決められています。針の根元の部分の色で緑（21G、太さ 0.8mm）黒（22G、太さ 0.7mm）水色（23G、0.65mm）の 3 種類です。これ以上細い針を使用すると、採血中に赤血球が壊れることにより、検査結果に異常が生じたり、採血に時間がかかって検査に適さない状態になる危険性があります。そのような場合には、改めて採血をしなおすよう、主治医から指示される場合もあり、かえって何度も針を刺さなければならなくなってしまうます。また、針の太さと痛みの強さはそれほど関係がないことも知られています。きちんと出血が止まるかどうかについては、針の太さよりもむしろ、針を抜いた後に十分に押さえたかどうかによります。（揉んではいけません。） 採血室では、必要な血液量を最短時間で採血できるよう、患者さんそれぞれの血管の状態を見極め、採血針を選んでおります。また、なるべく痛みがないよう日々、採血技術を磨いています。ご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記

3 月 11 日、三 沖を 源とした東日本大 災が発生しました。被災した皆様には心よりお見舞い申し上げます。・部・院は、地 直後から 号令のもと、帰宅できない方への炊き出し、その後しばらく続いた 画停 期中の 家発 機による・院・能の維持と、切れ目なく医療を提供してきました。この結果、有事にあっても地域の中核医療を担う・院として、 任を果たせたものと思います。特に・院は、医療情報を全 的に 子化して 用しているため、電気がなければ医療の継続がきません。そして、計・ 電は行わないと・表があり、 常の外 源に切り替えて一安心しているところ です。ただ原発事故に端を発する 力事情の厳しさに変わりはなく、職・ 要のない 気は使わず、多少暑くても、寒くても我慢を心掛け「がんばろう！！日本」に協力したいと思います。

広報委員 守屋 克之

北部病院だより 第65号

第 65 号【2011/5/30 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

- 巻頭言
『嚥下(えんげ)障害』
リハビリテーション科 助教 城井 義隆
- 医師の配属・異動・退職
- TOPICS
地域がん診療連携拠点病院に指定
ローソン&タリーズコーヒーがオープン
- 平成 23 年度臨床研修医紹介
- 患者さまへのお知らせ・お願い
総合相談センターの紹介
クールビズの実施について
- 外来担当表
- 診療統計
- 患者さまからのご意見・ご要望



5 月 14 日（土）北部病院ワークショップが開催されました。

巻頭言

『嚥下(えんげ)障害』

リハビリという言葉を目にすると、リハビリ療法士がマンツーマンで・者さんに接するイメージを持つ方もいらっしゃると思いますが、実はもっと大きな意味があります。

リハビリテーションは英語で Rehabilitation と書きます。この言葉を・解してみると、re(再び), habilis(適する状態), ation(すること)となります。リハビリテーション医療は、「再び適する状態に戻って頂く」をキーワードに 療する 域で、様々な 害に関する 療に携わっています。・院では、医師や歯科医師、・護スタッフ、歯科 生士、理学療法士、作業療法士、 剤師、管理栄 士、床工学士、床心理士、放射線技師、医療福祉相 員、事務系スタッフなどがリハビリテーション医療に参加します(つまり、みんなで参加しているということですね)。小生は、医師の立場でリハビリテーション医療を担当するユニークな？(奇特な？?)存在です。

さて今回は、様々な障害の中から「嚥下障害」についてお話しをしましょう。嚥下とは、水分や食物を口に取り込み、よく噛んで、咽頭(のど)と食道を経て胃へ送り込む、一連の運動を指します。この運動のいずれかに異常が起ることを嚥下障害といえます。嚥下障害になると食物を摂取出来なくなったり(脱水や栄養不良)、食物が気管へ入る(窒息や

肺炎)ことで身体に重大な影響を及ぼす可能性が高くなります。また、食べられないことで日常の大きな楽しみを奪われてしまうと考え方もいらっしゃるでしょう。

何故、リハビリテーション医療で嚥下障害を担当するのでしょうか？我々がお会いする患者さんは、咽頭(のど)の問題だけではなく、口や歯、舌、食道、認知的な問題など、複数の問題を抱えていることが多いです。そこで、広く「食べることの問題を扱う」という枠組みが必要となります。例えば、食事の仕方、食事の姿勢、食物の種類、食べ方の訓練、補助的な栄養法、歯科的管理などトータルな対応が必要となります。これを「摂食・嚥下リハビリテーションアプローチ」といいます。このような理由から、当科も嚥下障害診療に参加しているのです。

小生が主に担当しているのは、まずは嚥下造影検査です。嚥下造影検査は、X 線透視室で行います。嚥下運動は手足の動きのように目視することは出来ません。従って、嚥下運動を観察するにはX 線を通して観察しなければなりません。この検査で、何を、どのような姿勢で、どのように食べると安全かなどを診断します。つぎに、この検査に基づいて食事の仕方、食事の姿勢、食物の種類、食べ方の訓練などを立案します。入院中の方に関しては、病棟看護師と一緒に訓練を担当することもあります。

原因となる疾患は、脳血管障害や脳挫傷、脳腫瘍、パーキンソン病、多発硬化症、多発筋炎、重症筋無力症などの脳神経筋疾患、加齢に伴う嚥下能力低下、義歯不適合、咽喉頭腫瘍、食道癌、メンタル領域疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、脳性麻痺などの小児領域疾患などなど・・・多くの病気から嚥下障害になることがあります。

嚥下障害を疑う症状は、繰り返す肺炎、体重減少、ものが飲み込みにくい、食事中むせる、お茶やお水を飲む時にむせる、食事中や食後にのどがゴロゴロする、のどに食物が残る感じがする、最近食べるのが遅くなった、最近硬いものが食べにくくなった、口から食物がこぼれる、口の中に食物が残る、食物や酸っぱいものが胃からのどに戻ってくる、胸に食物が残ったり詰まる感じがする、夜に咳で寝られなかったり目覚めることがある、声がかすれてきた、などなど・・・多くの症状が挙げられます。

もちろん、上記があると全て嚥下障害と診断されるわけではありません。しかし、心当たりのある方は、皆さんのかかりつけである当院各科医師に相談してみましょう。また、看護師や歯科衛生士、薬剤師、管理栄養士などの当院職員も嚥下障害に関心を持っておりますので、お気軽にご相談ください。もちろん、小生にご相談頂いても構いません。当院での診療だけではなく、当大学グループのリハビリ専門病院である昭和大学藤が丘リハビリテーション病院や近隣リハビリ専門病院、近隣総合病院へのご紹介も可能です。

ただし、どのような手段を講じても口から食べることが出来ず、胃瘻による経腸栄養や中心静脈からの高カロリー栄養を用いないと栄養や水分が摂れない方もいらっしゃいます。患者さんやご家族の価値観に沿った選択肢を提示できるとよいのですが、実際はどのような選択がよりよいのか非常に悩みます。現代の医療でなかなか解決出来ない問題であり、限界を感じながら業務に携わっている今日この頃です。

医師の配属・異動・退職

2月~5月

新規配属医師

良沢 昭銘 (消化器センター) 山口大学 平成3年卒	山本 泰漢 (内科) 昭和大学 平成9年卒	下山 裕子 (麻酔科) 藤田保健衛生大学 平成16年卒	櫻井 茂 (循環器センター) 岡山大学 平成13年卒
本多 貴実子 (こどもセンター) 昭和大学 平成15年卒	鬼丸 学 (消化器センター) 九州大学 平成12年卒	岩野 博俊 (消化器センター) 山口大学 平成13年卒	杉原 雄策 (消化器センター) 香川大学 平成17年卒
吉崎 哲也 (消化器センター) 信州大学 平成20年卒	片岡 伸一 (消化器センター) 香川大学 平成21年卒	前田 知世 (消化器センター) 新潟大学 平成18年卒	神山 勇太 (消化器センター) 新潟大学 平成21年卒
福原 隆一郎 (放射線科) 岡山大学 平成17年卒	殿内 まどか (放射線科) 聖マリアンナ医科大学 平成21年卒	桜井 達也 (消化器センター) 昭和大学 平成21年卒	矢島 秀起 (こどもセンター) 東京医科歯科大学 平成21年卒
齋藤 佑介 (内科) 昭和大学 平成17年卒	後藤 聡子 (麻酔科) 昭和大学 平成21年卒	松田 隆晴 (緩和医療科) 山梨医科大学 平成7年卒	

金野 竜太 (内科) 昭和大学医学部 内科学 (神経内科)より	田中 俊生 (脳神経外科) 昭和大学医学部 脳神経外科学より	秋田 亮 (メンタルケアセンター) 昭和大学医学部 精神医学より	押尾 朋範 (メンタルケアセンター) 鳥山病院 精神科より
齋藤 美穂 (皮膚科) 昭和大学医学部 皮膚科学より	菅原 基子 (泌尿器科) 昭和大学医学部 泌尿器科学より	山崎 武士 (こどもセンター) 昭和大学医学部 小児科学より	間瀬 美紗 (こどもセンター) 藤が丘病院 小児科より
横山 佐知子 (メンタルケアセンター) 藤が丘病院 精神神経科より	新谷 紘子 (麻酔科) 歯科病院 歯科麻酔科より	長谷川 裕基 (眼科) 昭和大学医学部 眼科学より	

【新規採用 (研修医より)】		
☐ 肥田 典子 (呼吸器センター)	☐ 林 祥子 (呼吸器センター)	☐ 岡ジョエィ由衣 (消化器センター)
☐ 新井 真衣 (こどもセンター)	☐ 北原 優 (内科)	☐ 荏原誠太郎 (心臓血管カテーテル室)
☐ 久松 篤 (内科)	☐ 玉置 秀司 (外科)	☐ 道端浩三郎 (外科)
☐ 林 圭一郎 (泌尿器科)	☐ 松本 祐樹 (泌尿器科)	
【出張終了】		
☐ 里舘 均 (消化器センター)	☐ 細谷 寿久 (消化器センター)	☐ 渡邊 大輔 (消化器センター)
☐ 玄 良三 (呼吸器センター)	☐ 和田 陽子 (消化器センター)	☐ 谷坂 優樹 (消化器センター)
☐ 矢川 裕介 (消化器センター)	☐ 向井 俊平 (消化器センター)	
【配置転換】		
☐ 久行 友和 (救急センター ⇒ 消化器センター)	☐ 伊東 友弘 (内科 ⇒ 救急センター)	
☐ 伊藤 英利 (救急センター ⇒ 内科)	☐ 児玉 健太 (救急センター ⇒ 消化器センター)	
☐ 大本 智勝 (消化器センター ⇒ 救急センター)		

外来担当表		平成23年5月1日現在 外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。 ※奇＝奇数週 偶＝偶数週 数字＝診療日第○週 限＝限定									
	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	鹿間裕介(初)		鈴木 隆(初)		医局員(初)		笠原慶太(初)		北見明彦(初)		医局員(初診)
	笠原慶太(再)	笠原慶太(再)	石井／西脇(初診)	笠原慶太(再)	中神和清(再 2・4)	鈴木 隆(再)	神尾義人(初)	神尾義人(再)	滋谷泰弘(初)		
	北見明彦(再)	滋谷泰弘(再)	笠原慶太(再)			鹿間裕介(再)	鹿間裕介(再)		医局員(初)		
		石井 源(再)	鹿間裕介(再)			北見明彦(再)	石井／植松(再)		鹿間裕介(再)		
消化器センター					岩下 彰(2)		工藤進英(特診)				
	林 武雅(予)	大塚和朗	田中淳一		若村邦彦	若村邦彦	里舘 均	里舘 均	大塚和朗	大塚和朗	医局員
	岩野博俊	岩野博俊	井上晴洋	井上晴洋	和田祥城	和田祥城	良沢昭銘	良沢昭銘	春日井尚	春日井尚	
	医局員	出口義雄	医局員	医局員	医局員	遠藤俊吾	垣本哲宏	垣本哲宏	宮地英行	宮地英行	大腸手術後外来
心臓血管カテーテル室	山村冬彦	山村冬彦	工藤進英	小鷹紀子	日高英二	日高英二	医局員	医局員	医局員	医局員	木田裕之
	落合正彦			上部内視鏡外来	石田文生	医局員	大越章吾	山村冬彦	遠藤俊吾	【ストー】	伊藤／井上
	磯村直栄										
	星本剛一		岡部俊孝		小原千明		荒木 浩		斎藤重男		医局員
循環器センター (先天性心疾患)			荏原誠太郎		山本明和		藤倉孝則		山下賢之介		
心臓血管外科 (22-6)	富田 英		上村 茂	富田 英	【カテーテル治療】	百々秀心(4)	富田 英	富田 英	上村 茂	上村 茂	医局員
メンタルケア(初)	堀 宏治 (精神全般 認知症)	堀 宏治 (精神全般 認知症)	吉益晴夫	吉益(135) 富岡(24)	工藤行夫 (精神全般 統合失調症)	工藤行夫 (精神全般 統合失調症)	秋田 亮	秋田 亮	内田充彦	内田充彦	青木麻梨
メンタルケア(再)		富岡 大	秋田 亮		堀 宏治	堀 宏治	吉益晴夫	吉益晴夫	工藤行夫		山田英介
メンタルケア(再)		青木麻梨	押尾朋範		堀 宏治	堀 宏治	横山佐知子	横山佐知子	笹森大貴		
内科13:00-14:00		石部 横	医局員		富岡 大		菊地 優	菊地 優	堀 宏治	吉益(135)	
内 科(23-2)		高橋健(腎)									
内 科(23-3)	成島道昭 (内科)	武重由依 (内科)	土屋静馬 (内科腫瘍)		菊嶋修示 (循環器不整脈)	菊嶋修示 (循環器不整脈)		武重由依 (内科)			
内 科(23-5)	衣笠えり子 (内科腎臓)	福井俊哉 (記憶認知)	加藤雅典 (内科)		衣笠えり子 (内科腎臓)	衣笠えり子 (内科腎臓)	坂下暁子 (内科血液)	坂下暁子 (内科血液)		川崎仁志 (神経疾患)	土曜初診
内 科(25-1)	坂下暁子 (内科血液)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	三代川章雄 (内科消化器)	三代川章雄 (内科消化器)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)		三代川章雄 (内科消化器)
内 科(25-2)	金野竜太 (内科神経)	山崎貴博 (内科神経)	小林功治 (内科)	中山文義(腎) (2・4・5)	金野竜太 (内科神経)		松坂貴太郎 (内科)	小林功治 (内科)	小林功治 (内科)		荏原 徹 (糖尿病,内分泌)
内 科(25-3)	和田幸寛 (内科腎臓)	山崎貴博 (内科)	三沢志保 (内科)		伊藤英利 (内科)	小林直人 (内科)	和田幸寛 (内科腎臓)	伊藤英利 (内科)	伊藤英利 (内科)		山本泰漢 (内科消化器)
内 科(25-5)	田口 進 (内科消化器)	井上 横 (糖尿病,内分泌)	久松 篤 (内科)	山本泰漢 (内科消化器)	山本真寛 (内科)		田口 進 (内科消化器)		山本真寛 (内科)		渡邊浩之(1.3) (内科)
内 科(25-6)	荏原 徹 (糖尿病,内分泌)	荏原 徹 (糖尿病,内分泌)	辻 正富 (糖尿病,内分泌)	辻 正富 (糖尿病,内分泌)	荏原 徹 (糖尿病,内分泌)	荏原 徹 (糖尿病,内分泌)	勝呂俊昭 (糖尿病)	小林直人 (内科)	荏原 徹 (糖尿病,内分泌)	荏原 徹 (糖尿病,内分泌)	辻 正富 (限定)
内 科(25-7)	齋藤佑介 (内科)	大野恭史 (内科)	北原 優 (内科)	大野恭史 (内科)	北原 優 (内科)	滝西安隆 (内科)	緒方浩顕 (内科腎臓)	成島道昭 (内科)	滝西安隆 (内科)	緒方浩顕 (内科腎臓)	緒方浩顕 (内科腎臓)
内 科	宮下耕一郎 (内科)		嶋田 顕 (内科腫瘍)	嶋田 顕 (内科腫瘍)	木村 聡 (内科・感染症)	女性専門外来 (予約のみ)	嶋田 顕 (内科腫瘍)	嶋田 顕 (内科腫瘍)	伊東(1.2.3) (内科腫瘍)		大野恭史(2休) (内科)
小 児 科	梅田 陽	神経外来	梅田 陽	乳児検診	北澤重孝	7ルル* -外来	梅田 陽	成育外来 (135)	北澤重孝	乳児検診	臼井一郎(2.4) (内科検査)
小 児 科	大戸秀恭	予防接種	澤田まどか	740-747* 外来	大戸秀恭	腎臓外来 辻(13)池田(24)	澤田まどか	心臓外来	三輪善之	740-747* 外来	三輪(135) 本多(24)
小 児 科	北澤重孝	腎臓外来 谷口	本多貴実子	血液内科(4) 心理相談	本多貴実子	心理相談	井上真理	口腔発達(2,4)	大戸秀恭		澤田(135) 西岡(24)
小 児 外 科		鈴木 明		大橋祐介		鈴木孝明	心理相談	大橋祐介			大戸(135) 上松(2)
皮膚科(初16-3)	杉山美紀子		宋 寅傑		齋藤美穂		杉山美紀子		宋 寅傑		鈴木(135) 大橋(24)
皮膚科(再16-1)	宋 寅傑								鈴木永里加		医局員
皮膚科(再16-2①)	齋藤美穂	【手術日】	齋藤美穂	【手術日】	島田洋子	【手術日】	島田洋子	【手術日】	齋藤美穂	【手術日】	医局員
皮膚科(再16-2②)	鈴木永里加		杉山美紀子		鈴木永里加		鈴木永里加		杉山美紀子		
外 科	中村明央 (第3以外)	中村明央			新井一成		新井一成	井関雅一(24) 岩波正英(3)	中村明央	岩波正英 (第2,4)	中村(135) 新井(24予)
外 科	福成(124初限)		福成信博		山崎智巳	兼坂 茂 (予約のみ)			福成信博 (1.2.3.5)		花澤田博(13) 山崎智巳(24)
形成外科	大塚尚治	ヒールンク	【手術日】				【手術日】		大塚尚治		大塚尚治(13)
緩和ケア(麻酔科)		岡本健一郎 (事前予約制)				岡本健一郎 (事前予約制)				岡本健一郎 (事前予約制)	
脳神経外科 (初再診)		小林信介 (24のみ)	池田尚人 (予約のみ)	【手術日】		退院後外来					医局員
脳神経外科	池田尚人	池田尚人 (診断書外来)	外傷・紹介のみ (初)	【手術日】	池田尚人	池田尚人	松本浩明	松本浩明	池田尚人 (予約のみ)	医局員	池田1松本23 田中45
整形外科	医局員	逸見範幸	医局員(初)	川崎恵吉	医局員(初)	中村正則	医局員(初)	三雲 仁	医局員(初)	尾又弘晃	医局員
整形外科		装具診 予約のみ	三雲 仁	前田昭彦 (1,3,5)	逸見範幸	装具診 (予約のみ)	三雲 仁	古槻(2.4)	逸見範幸	骨粗鬆症外来 (2.4)	医局員
整形外科	前田昭彦		西山嘉信(予)	リハビリ診(135)	尾又弘晃	中村正則	中村正則				
整形外科	川崎恵吉		大下優介		筒井完明		川崎恵吉		大下優介		
産婦人科 初診(12-7)	佐々木 新城／三村		高橋 諄		高橋 諄		小塚／安藤 (大森)(荒川)		小川公一		医局員
産婦人科 産科Ⅰ(12-1)	大森明澄		小川公一		佐々木康		三村貴志		安藤直子		
産婦人科 産科Ⅱ(12-6)	荒川 香				新城 梓		小林 翠				特殊診 (予約のみ)
産婦人科 産婦人科Ⅰ(12-8)	小川公一		佐々木康	特殊診 (予約のみ)	荒川 香		高橋 諄		新城 梓		特殊診 (予約のみ)
産婦人科 産婦人科Ⅱ(12-6)			安藤直子						大森明澄	三村貴志	医局員
泌尿器科 (初診11-1)	永田将一		初診輪番	丸山邦隆 (予約のみ)	斉藤克幸	医局員 (予約のみ)	井上克己	菅原基子 (予約のみ)	島田 誠		医局員 (初再診)
泌尿器科 (再診11-3)	島田 誠	島田(女性外来 予約のみ)	齋藤克幸		井上克己		永田将一		椎木一彦		
泌尿器科 (検査11-5)		青木(女性外来 第2)(予)									
眼 科	長谷川裕基	特殊診 (長谷川)		特殊診 (長谷川)	藤澤邦見		藤澤邦見	特殊診 (藤澤)(2休)	井上浩太		医局員
眼 科	南 雅之		南 雅之	特殊診(南)	井上浩太		井上浩太	特殊診(井上)	南 雅之	特殊診(南)	医局員
眼 科	嶋田撰也	特殊診(嶋田)	長谷川裕基		長谷川裕基		嶋田撰也	特殊診(嶋田)	嶋田撰也		
耳鼻咽喉科13-1	門倉義幸(初)	腫瘍甲狀腺(予)	山田良宣(初)		医局員(初)		篠 美紀(初)	榑橋幸民(再)	医局員(初)		医局員(初)
耳鼻咽喉科13-2	山田良宣(再)		許芳行(再)				門倉義幸(再)	門倉義幸 135予約のみ			
耳鼻咽喉科13-3①	篠美紀(再)				滝口修平(再)						
耳鼻咽喉科13-3②							補聴器外来K (予約のみ)	補聴器外来N (予約のみ)			
歯科	渡辺(初診)	渡辺(初診)	丸岡/田代/木下	佐野(再診)	渡辺(初診)	渡辺(初診)	渡辺(再診)	渡辺(初診)	渡辺(初診)	渡辺(初診)	渡辺(初診)
	永山(再診)	永山(再診)	永山(再診)	永山(再診)	医局員	医局員	永山(再診)	永山(再診)	永山(再診)	永山(再診)	永山(再診)

異動・退職医師

【附属病院へ】

☐ 川島 史善（整形外科）⇒藤が丘病院整形外科	☐ 上岡なぎさ（皮膚科）⇒昭和大学医学部皮膚科学
☐ 吉澤 徹（メンタルセンター）⇒烏山病院精神神経科	☐ 前田 智子（泌尿器科）⇒昭和大学医学部泌尿器科学
☐ 布山 正貴（こどもセンター）⇒藤が丘病院小児科	☐ 田村 利之（メンタルセンター）⇒藤が丘病院精神神経科
☐ 田淵 陽子（麻酔科）⇒歯科病院歯科麻酔科	☐ 伊川 太郎（メンタルセンター）⇒昭和大学医学部精神医学
☐ 大場啓一郎（放射線科）⇒昭和大学医学部第一薬理学教室	
☐ 滝 元宏（こどもセンター）⇒昭和大学医学部小児科学	

【長期学外出張】

☐ 井上 学（内科）	☐ 坂本 篤紀（麻酔科）	☐ 出口 義雄（消化器センター）
☐ 中山 禎理（脳神経外科）	☐ 前田 康晴（消化器センター）	☐ 五十嵐健太（消化器センター）
☐ 一政 克朗（消化器センター）	☐ 小形 典之（消化器センター）	☐ 石垣 智之（消化器センター）
☐ 西脇 裕高（消化器センター）	☐ 石黒 智也（消化器センター）	☐ 鈴木 学（こどもセンター）
☐ 山下 皓正（外科）	☐ 国井 健太（形成外科）	☐ 長谷部寛子（整形外科）
☐ 池原 貴志子（消化器センター）	☐ 鈴木 道隆（消化器センター）	

【退職】

☐ 兼坂 茂（救急センター）	☐ 黒子 洋介（循環器センター）	☐ 戸嶋 洋和（内科）
☐ 澤田 成彦（消化器センター）	☐ 小原 英里（形成外科）	☐ 田邊 智絵（整形外科）
☐ 富永 牧子（こどもセンター）	☐ 臼田 亮介（呼吸器センター）	☐ 御子柴 幸（心臓血管カテーテル室）
☐ 小塚 和人（医療情報部）		

TOPICS

北部病院が「地域がん診療連携拠点病院」に指定されました。

平成23年4月1日付けで、北部病院が厚生労働大臣より「地域がん診療連携拠点病院」に指定されました。

★地域がん診療連携拠点病院とは？

専門的ながん医療の提供を行うとともに、がん診療の連携体制の整備、がん患者に対する相談支援、情報提供等を行う病院で、地域のがん診療の質の向上を図ることを目的に国が指定します。（がん診療連携拠点病院は、都道府県に1か所整備する「都道府県がん診療連携拠点病院」と2次医療圏ごとに原則1か所整備する「地域がん診療連携拠点病院」があります。）

北部病院は、緩和ケア病棟(25床)を有していることや、5大がんの一つである大腸がん診療に顕著な実績があること等が評価され、横浜市北部2次医療圏において2か所目の指定につながったものです。

北部病院の指定により、横浜市内のがん診療連携拠点病院は5か所目となります。
（地域がん診療連携拠点病院は4か所目）

【横浜市内のがん診療連携拠点病院】平成23年4月1日現在

〔都道府県がん診療連携拠点病院〕神奈川県立がんセンター(旭区)
〔地域がん診療連携拠点病院〕横浜州市市民病院（保土ヶ谷区）
横浜市立大学附属病院（金沢区）
横浜労災病院（港北区）
昭和大学横浜市北部病院（都筑区）

ローソン&タリーズコーヒーがオープンしました。



ローソン



タリーズコーヒー

平成23年3月31日（木）中央棟1階に売店（ローソン）および喫茶店（タリーズコーヒー）がオープンしました。営業時間は下記のとおりです。

	平日	土曜	日曜・祝日
ローソン	7時～21時	7時～21時	8時～18時
タリーズコーヒー	7時30分～19時	7時30分～18時	10時～18時



患者さまへのお知らせ・お願い

総合相談センターの紹介 ～開設後の活動報告～

総合相談センター 大谷木 靖子



中央棟1階正面玄関入ってすぐ

当院の総合相談センターは、試行期間を経て、昨年12月20日から本格運用を開始しております。すでにお気づきになっておられる方も、ご利用いただいた方もいらっしゃるかと思います。

今回は、総合相談センターの機能と役割についてご紹介します。

病気や怪我などの症状によって、患者さまの生活が今までと異なる場合があります。いろいろな心配や疑問・不安などが生じることがあります。総合相談センターでは、そのような患者さまとご家族が抱えるさまざまなご相談に対応しております。安心して療養生活が送れるよう、ご相談の内容に応じて、看護師や薬剤師、栄養士、医療ソーシャルワーカーなどのスタッフがお話を伺い、一緒に問題を考え、困っている事柄の速やかな解決に向けてお手伝いをさせていただきます。

また、当院は、本年4月1日付で地域がん診療連携拠点病院に指定されました。「がん」は、日常生活を送りながら治療し、長期間にわたって付き合っていく病気になっています。総合相談センターは、そのようながんに関するさまざまな相談に対応する「がん相談」の役割も担っております。

12月の開設から本年4月までに、延べ587名のご相談に対応いたしました。（表1）また、相談内容で多かったものは、表2のようなものでした。

<表1>相談件数

	2010年12月	2011年1月	2月	3月	4月	合計
相談件数	63件	114件	159件	111件	140件	587件
うち がん相談	7件	17件	30件	18件	32件	104件

<表2>相談の多かった内容

相談内容	のべ件数	全体に占める割合
受診科相談など	116件	16.5%
受診・入院方法など	67件	9.5%
症状・後遺症について	56件	8.0%
治療について	44件	6.3%
医療費について	38件	5.4%



総合相談ブース

今後も、スタッフ一同心をこめてご相談に対応させていただきます。
どうぞお気軽に声をおかけください。

【場 所】：中央棟1階（2階とのエスカレーター脇）
【対応時間】：平日 9時～16時（土日・祝日を除く）
【相談希望の場合】 予約不要。直接おいでください。

※当院に通院・入院中の方はもとより、どなたでもご利用できます。
※個人の秘密は守り、相談者の不利益にならないように配慮します。
※相談は無料です。



お気軽にお声掛けください。

クールビズの実施について



昭和大学は、全施設一丸となって節電対策に取り組んでおります。
皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

<主な節電対策>

★クールビズの実施

・職員の軽装（半袖・ノーネクタイ）

期間：5月20日（金）～9月30日（金）

（気象条件により、期間は変更する場合があります）

・冷房の設定温度28℃

★照明の間引き点灯

・院内の照明などの間引き点灯

★エレベータの停止

・職員用・患者用エレベータの一部停止